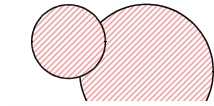


明星中学校だより

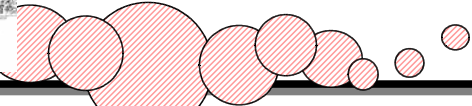
知と和と粘り



〒 070-0025 旭川市東5条1丁目

Tel 0166-26-0468 Fax26-0469

E-mail: myojyo@myojyo.jhs.asahikawa-hkd.ed.jp



■発行責任者 校長 増茂 薫

■発行日 平成25年3月8日

◇第24号◇

ありがとう3年生

旧職員ビデオレター・合格の舞・応援メッセージ ・思い出のDVD・吹奏楽応援演奏

在校生 心の底から『3年生を励ます会』

昨年は、インフルエンザに翻弄された「3年生を励ます会」でしたが、今年は予定どおり2月4日(月)に。今年も、生徒会本部役員や各学級の委員長と副委員長が中心となって、盛りだくさんの準備で会場が一体となった歓声にあふれました。中でも、2年生の藤原有彩さんと1年生の齊藤凜太郎君による太い筆で『全員合格』と。これは、お見事でした。その他、紹介しきれないほどの出し物が次から次へと…。1・2年生の成長の様子が、3年生にとって一番の贈り物。会の最後に、3年生を代表してお礼の言葉を述べた佐野さんの挨拶に、すべてが凝縮されていますので紹介します。

3年生を励ます会 感謝の言葉

3年1組 佐野ひかり

今回は、私たちのためにこのような会を開いていただきありがとうございます。1, 2年生のみなさんが、この明星中をリードしている様子を見ると、私たちも受検に向けて頑張っていこうという気持ちになりました。2年生のみなさんの働きぶりはとても立派だと思います。1年生のみ



なさんは、そんな先輩たちの活躍をよく見ておいてください。1年後はみなさんの番になります。

今、私たちは受検に向けて忙しい日々を送っています。1, 2年生のみなさんにとって、受検は遠い存在で、3年生になれば乗り越えられるものだと思いませんか？実際、私もそうでした。しかし、最近になってそうではないことに気づいてきました。例えば、朝の1分間スピーチは、自分の意見を発表するよい練習となり、面接や作文の試験の時にとても役立ちます。また、クラスが1つになった明星祭や陸上競技大会の団結力は、受検に向かう良い雰囲気を作り出し、お互いに面接の際のアドバイスを交換し合ったり、勉強でわからないところを教え合ったりと、学年や学級が1つのチームとして、みんなで受検を乗り切ろうという気持ちを高めてくれます。一見、受検とは関係のない思いがちなことでも、中学校生活の一つ一つが自分にとって大切な経験となり、大きな力になるのです。

最後になりますが、先輩として皆さんに伝えたいことがあります。それは、中学校での3年間は皆さんが思っている以上に短く、あっという間に過ぎ去ってしまうということです。その中で、皆さんはいろいろな経験をしていくことになります。その経験は、自分にとって楽しいことや嬉しいことだけではなく、辛いことや嫌なこともあります。でも、その経験は必ず自分を大きく成長させてくれるきっかけを与えてくれます。1年後、2年後、皆さんが今の私たちと同じ立場になった時に、「これで良かった！」と思える道を選び、進んでいってください。



地域で光る本校生徒の善行を聞くと、皆が元気になります

スキー授業において

1/25に、明星中の1・2年生がカムイリンクスへスキー授業に行った際、スキー場を訪れていたある方から下記のような連絡をいただきました。

「スキー授業に来ていた小学生が一人、転倒して列からはずれ泣いていた様子を見た中学生の数人(明星中のゼッケンをつけていた)が、その子に駆け寄り、優しくスキーをはかせ励まし、ずっと前の方にいた元の隊列に戻っていたのを見た。大変、素晴らしい中学生の動きだった。」

新旭川地区青少年育成会議において

2/25、東五条小にて行われた会議にご参加の方より、次のような発言がありました。

「例年のない積雪で、皆が悲鳴をあげている今年だが、明星中の男子生徒とその兄の高校生は、毎日、自分の家の周辺はもちろん、道路まで除雪をしてくれている。素晴らしいことである。」

近づく卒業…

公立高校の一般入試を終えた3年生も、久しぶりに昨日から普通に登校して活気づいています。入試の下見からの3日間、3年生の先生方は卒業式までのプログラムについて綿密な打合せ。3年生のピークは、入試ではありません。入試が終わったら、「すべて」終わりでは、公教育の役割は果たせません。それがよくわかっているベテラン揃いの第3学年ですから…。

3月14日(木) 卒業生入場10時
第64回 卒業証書授与式
130名の卒業生が巣立ちます。

■発行責任者 校長 増茂 薫

■発行日 平成25年3月8日

◇第24号◇